



菅野大志の

「いどばた会議」VOL.47

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

今月の「大」ニュース！

2026年4月の西川町人口は、
国の推計よりも141人多く残っています！

ご登録をお願いします！



▲町公式LINE

1. 総合政策審議会 町の主要103事業中、79事業（85%）が進捗順調！

この結果を得られたのは、町民と職員が次のとおり共創できたからだと思います。

- ①私や町の職員に現場や対話会で経緯など教えてくれた「町民の皆様」のおかげです。
- ②要望やお困りごとを解決するためには「国や県の力を借りるため要望活動」が重要です。
- ③ふるさと納税（かせく課）を中心に「自主財源を確保する不断の努力」が必要です。
- ④必要な事業に資金を充てて実行に移す「職員・民間事業者」が必要です。
- ⑤政策の進捗が進み、町に定住・移住する人が予想よりも増えた。皆様の努力の成果です。

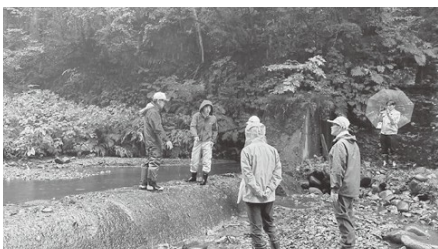


2. 8月～9月の現場と対話

- 横岫町内会長・大泉頼成さん：横岫沢から農業・流雪溝用水の取水箇所の管理の困難さ
- 月岡町内会長・宮林良幸さん：寛ヶ沢の土砂堆積や農業・流雪溝 用水の取水箇所の管理の困難さ
- 山内善信さん（本道寺）：天気の悪い月山でも楽しめる高山植物
- 清川仙人会代表・片倉忠幸さん：岩根沢・水沢登山道や清川行人小屋管理の困難さ
- 荒木俊男さん（沼山）：デマンドタクシー事業により、広がった楽しみ
- ケアハイツ（荒木弘理事長）：老朽化する施設と介護サービスの課題
- 西村山地方森林組合長横山修さん：木材伐採に向けた林道拡幅の重要性
- 各部活動の皆様：各部活動が抱える課題と要望 等



▲清川行人小屋でわいわい朝食！



▲横岫沢の取水箇所の視察



▲月岡の寛ヶ沢の土砂堆積箇所の視察

3. 要望と財源確保

- ①8月28日、高市早苗内閣総理大臣に伺いました。私が副会長を務める全国若手町村長会を代表して、若手首長が直面する課題の共有と意見交換する機会に恵まれました。
高市総理は、昨冬に贈呈した啓翁桜の産地であることをご認識いただいたほか、「若い力で、かせげる地域にするよう挑戦を続けてほしい」とコメントをいただきました。
- ②7月26日、林芳正総務大臣と地域課題に関する意見交換を行いました。総務省には、わが町でも課題となっている、テレビ自主共聴組合の設備更新について国に対して新たな補助金の創設をお願いしたいです。
- ③8月7日、鈴木憲和農林水産大臣に、西川町の民間事業者総勢10名で要望にうかがいました。
 - ・西村山地方森林組合の横山組合長から北国における森林造成に必要な下刈り支援
 - ・大井沢ISMの志田社長からは、農山漁村振興交付金を活用した取組
 - ・西川建設クラブからは災害復旧への対応を要望し、次の週にはありがたい回答がありました。早い！
 このような要望だけでなく、現在、個人版のふるさと納税も昨年に引き続き10億円を突破する見込みであり、子ども達や高齢者向けの政策に使ってまいります。



▲総理への説明の様子



▲高市総理大臣と
全国若手町村長会役員



▲大所帯で農水大臣室へ

4. 各事業を実施！「のってあべプラス」とビジターセンター建設をご紹介！

（1）デマンドタクシー「のってあべプラス」

「のってあべプラス」は、国土交通省の補助事業を活用し、8月3日から開始した事業で、寒河江の駅や医療機関・買い物の場所まで、片道東部地区500円・西部地区800円でいけるデマンドタクシーです。ぜひ利用下さい。
8月は、西部エリア2件、東部エリア17件の計19件の利用。私も荒木俊男さん（沼山）と同乗し一緒に買い物を楽しみました！荒木さんから「食べることが1番の楽しみ。食べる準備の買い物も楽しみだし、買い物後にお店でソフトクリームを食べるもの楽しみだ」とお聞きし、この事業の大切さを実感しました。



▲寒河江市でお買い物の手伝い

（2）モンベルとのビジターセンター建設に向けた意見交換

本町は、月山や朝日連峰をはじめ、月山湖をフィールドとしたカヌー、登山、トレッキング、スキーなど、東北屈指のアウトドア資源があります。モンベルの辰野会長と意見が一致したのは、本町が誇る数々のアウトドア体験の拠点となるビジターセンターが必要ではないかということです。本件にモンベルから助言をいただくことになりました。
このような政策を1つ1つ進捗させることで、人口減少の予測に抗っていきたい🙌



▲モンベル会長がまるろくさんに看板の御礼